



船橋市の 新しい基本計画を検討しています

市民会議の結果がまとまりました

創刊号でもご紹介しましたが、平成21年11月15日、同29日（日）、平成21年12月13日（日）の計3日間に渡り、毎日朝から夕方までの時間をかけて市民会議を開催しました。市民会議では非常に活発にご議論いただきました。ここでは討議結果の概要について、特に支持率の高かった提案などを中心に簡単にご紹介いたします。

（詳細の報告書は<http://www.city.funabashi.chiba.jp/kikaku/shinkihon/index.htm>に掲載されています）

<<市民会議の討議結果の整理の仕方について>>

・市民会議では、各グループがテーマに沿った課題や対応策（テーマ①の場合は魅力や問題点）などを最大で3点提示しています。そして、それらに対して投票を行い、支持率を算出しました。

・とりまとめでは、同じようなテーマの提案をまとめ（提案の種類）、各類型に対する支持率を算出し、その支持率の大きな類型を紹介しています。また、それぞれの類型に含まれる個別の提案内容についても、具体的な内容について紹介しています。

<<グループごとの提案ととりまとめのイメージ(テーマ①)>>

提案の種類	魅力		順位	投票数	支持率	班
	各グループの提案	市民が取り組むこと				
都心に近く商業が充実しているなど生活利便性が高い	利便性(交通、生活)	車に頼らない(自転車での移動、鉄道も)	1位	11	22.0%	D
	地産に恵まれ、東京に近い	地消と安全に取り組む	6位	4	8.0%	A
	買い物しやすい	地元産業振興のため、地元で買い物をする	6位	4	8.0%	D
	都心に近い、ショッピングセンターが多い	・ショッピングセンターの積極的利用 ・駅前美化	9位	1	2.0%	E
	公共施設、商業施設も整っている	公共施設の利用を高める	10位	0	0.0%	C
	「都心に近く商業が充実しているなど生活利便性が高い」に関する提案 合計				20	40.0%
緑が多い	保全活動(緑化)商業所(地元野菜など)を利	2位	10	20.0%	F	

<<市民会議の討議結果>>



テーマ①「船橋市の魅力とそれを伸ばす方法／船橋市の問題点とその改善方法

○魅力とそれを伸ばす方法

生活利便性が高いことに関連する提案への支持率が40.0%と最も高く、次いで緑や海など自然が豊かであることに関連する提案への支持率が36.0%となりました。「利便性が高い」点をのばすために市民は「車に頼らない」ことを、「緑が多く自然が豊か」である点をのばすためには市民は「緑の保全活動や直売所の利用」に取り組むとする提案がそれぞれ高い支持率を得ています。

○問題点とその改善方法

インフラの整備が不十分であることに関連する提案への支持率が36.0%と最も高く、次いで、治安が悪いことに関連する提案への支持率が22.0%となりました。「インフラ整備が不十分である」点を改善するために、市民は「町会、自治会、各家庭での交通マナー遵守の取組」が、治安が悪い点を改善するために市民は「自治会・自警団のパトロール強化」の提案がそれぞれ高い支持率を得ています。

○分野横断的課題に係る論点

魅力を活かすことに関しては「インフラ整備」、問題点を解決することに関しては「コミュニティの強化」、「通学路の市民パトロール(防犯にもなる)」といった論点が挙げられました。



テーマ②「環境負荷の少ない市民生活」～自然と共生した都市生活・資源循環型社会～

○課題と対応策

車利用の抑制に関連する提案への支持率が28.0%と最も高くなりました。個別の提案では「CO2の削減(マイカーを減らす)」が課題であり、市民は「車の規制や公共交通の有効利用」に、市は「インフラ整備・道路拡幅・好アクセス化・レンタサイクル」に取り組むとする提案が最も高い支持率を得ています。



次に省資源型のライフスタイルの確立に関連する提案への支持率が26.7%と高くなっています。個別の提案では「使い捨てから使い切りへの移行(エコ商品へ)」が課題であり、市民は「エコバックの利用、リサイクルシステムの利用」に、市は「情報開示、エコポイント」に取り組むことが必要であるとする提案が、高い支持率を得ています。

さらにこれらに次いで、ゴミの適正処理に関連する提案への支持率が22.7%と高くなっています。個別の提案では「ゴミの減量化」が課題であり、市民は「各家庭で問題意識付け、分別の徹底」に、市は「ゴミ収集ルールの再検討(ゴミの再分別化)」に取り組むことが必要であるとする提案が高くなっています。

○分野横断的課題に係る論点

複数の分野に係わる課題として、「海の“青化”」、「太陽電池の広範囲利用へ」、「インターネットをなるべく使う」、「啓蒙活動を市主体で行って、民間レベルの活動に展開できるようにする」といった論点が挙げられました。

テーマ③「安心で安全な生活環境」～防犯・防災関係・地域コミュニティ～

○課題と対応策

地域コミュニティの活性化に関連する提案への支持率が34.8%と最も高くなりました。個別の提案では「自治会・町会ボランティアの活用<防災と防犯>」が課題であり、市民は「自治会・ボランティア活動の参加への意識向上」に、市は「自治会のサポート(報償制度確立・住民への情報提供)」に取り組むとする提案が、高い支持率を得ています。

次に一人ひとりの防犯・防災への意識と備えに関連する提案への支持率が30.4%と高くなっています。個別の提案では市民は「小規模単位で防災訓練をひんぱんに行い参加、訓練結果のフィードバック」に、市は「小規模単位での防災訓練の指導と補助(カンパン等)」に取り組むとする提案と、市民は「道具に対するトレーニング(ポンプなど)、市民意識の向上(訓練に参加)」に、市は「インフラの整備(手押しポンプ)、近隣都市との協力体制構築」に取り組むとする提案が、ともに10.1%の支持率を得ました。

さらにこれらに次いで、地域の防犯・防災体制づくりに関連する提案への支持率が18.8%と高くなっています。個別の提案では「町会・自治会、市役所、警察・消防署と連携を強める」が課題であり、市民は「かけこみ所・避難所マップ作成に協力、相談、行事参加、建物の耐震チェックに協力、等」に、市は「防犯カメラの計画的な設置、身近に感ずる防犯・防災交通マップの作成、学校との連携」に取り組むとする提案が、15.9%と高い支持率を得ています。

○分野横断的課題に係る論点

「市の美化運動(結果として防犯防災へつなげる)」、「向う三軒両隣の小単位での組合設置」、「住民票届けの際に地域町内会の案内を」、「活動の中心となる最初のインストラクターの育成」、「電柱の警報ブザー設置(鳴ることで周囲の家の人に知らせる→防犯・火災・倒れた人を助ける)」、「町会・自治会、市、警察・消防の連携」といった論点が挙げられました。

テーマ④「活力ある都市への魅力づくり」～産業振興・雇用・魅力ある市街地・若者の集まるまち～

○課題と対応策

独自のブランドなど地域のイメージづくりに関連する提案への支持率が36.2%と最も高くなりました。個別の提案では「船橋のイメージ作り」が課題であり、市民は「船橋の良さ、歴史を町内会でまとめることや市のイベントへの参加」に、市は「市民祭りを全国的にPR(ばか面おどりのコンクールなど)」に取り組むとする提案が、15.9%と高い支持率を得ています。

次に、「地域の一体感の創出」が課題であり、市は「スポーツチームの誘致」に、市民は「市民応援団を作る、試合を見に行く！」に取り組むとする提案が、20.3%と高い支持率を得ています。

さらにこれに次いで、地元産業の振興に関連する提案への支持率が20.3%と高くなっています。個別の提案では「目玉商品をつくる」が課題であり、市民は「船橋産を使う、買う」に、市は「船橋産の認証とポイントの付与」に取り組むとする提案が、10.1%の支持率を得ています。

○分野横断的課題に係る論点

「船橋市の目玉(特産品)をつくる為に商工会議所と地元商店街や大型店との連携」、「スポーツ推進と地域(周辺も含む)交流」、「これぞ船橋!! というものを見つける(アンケート... etc)」、「企業や大学と連携してアピール」、「船橋の利便性を活かして移住者を増やす」、「福祉と思いやりのある街づくり」といった論点が挙げられました。



テーマ⑤「これからの保健福祉」～児童・障害者・高齢者福祉、保健関係～

○課題と対応策

子育て家庭への支援に関連する提案への支持率が34.7%と最も高くなりました。個別の提案では「私立保育園の持病がある子の受け入れ体制に問題」が課題であり、市民は「地域・市・国に呼びかけるサークルをつくる(世の中の認知度UP!)」に、市は「私立でなく市立の保育を増やし空き教室で保育園を作る、泣く外来をやる(公民館等へ看護師や保健師を配置し子どもが泣いて困った時に連れて行って良い場所を設ける)」に取り組むとする提案が、17.3%と高い支持率を得ています。

次に、高齢者、障害者の社会参加の促進に関連する提案への支持率が28.0%と高くなっています。個別の提案では「高齢者と障害者の雇用」が課題であり、市民は「心理的・社会的偏見をなくす」に、市は「シルバー人材センターの宣伝、優良企業をサポート」することに取り組む、とする提案が、10.7%と高い支持率を得ています。

○分野横断的課題に係る論点

「インフラ整備(リサイクル(廃材・パイプ)品を利用した手すり等の整備、公園にブザー)」、「船橋マラソン開催(徒歩も可→高齢者もみんなも元気に。交流がはかれる)」、「少子・高齢化への対応を船橋から発信」といった論点が挙げられました。

テーマ⑥「分野横断的な取り組み(市民が考えるリーディングプラン)」

○課題と対応策

ブランド化などによる船橋市の知名度アップに関連する提案への支持率が41.3%と最も高くなりました。個別の提案では「船橋としての食の打ち出しが薄い」が課題であり、市民は「地元の価値を知る」に、市は「市による食の宣伝→イベント等での優先的地元品打ち出し」に取り組むとする提案が、16.0%と高い支持率を得ています。

次に、支え合いと交流の環境整備に関連する提案への支持率が29.3%と高くなっています。個別の提案では「世代を超えた交流できる街」が課題であり、市民は「子供の会・おやじの会・婦人会・シルバー会等を造る、地域・一般の人が先生になる教室を週に1回でも開催」に、市は「学校等の空き教室等を会(サークル)に提供」に取り組むとする提案が、13.3%と高い支持率を得ています。

まちづくり提案募集について

平成21年12月15日(火)～平成22年1月14日(木)の約1ヶ月間にわたり、「広報ふなばし」やウェブサイト、さらに公民館等への募集用紙の配布を通じて、「船橋をどのようなまちにしたいか」やそれを実現するための方法等を、「まちづくり提案」として募集しました。その結果、応募総数で15名、意見総数で26件の提案が寄せられました。意見を分野別にみると、市政に関する意見やまちづくりに関する意見が多数寄せられました。

(詳細の報告書は<http://www.city.funabashi.chiba.jp/kikaku/shinkihon/index.htm>に掲載されています)

<<まちづくり提案募集の実施結果>>



■属性■

・まちづくり提案への応募総数は15名、意見総数は26件となりました。募集方法別にみると、Eメールが9件で最も多くなっています。また、年代別では70代以上が5件で最も多く、次いで60代が3件となりました。

■意見の分野■

・応募意見を分野別にみると、市政に関する意見(8件)や、まちづくりに関する意見(7件)が多くなっています。

募集方法別応募状況		年代別応募状況	
Eメール	9	10代	1
FAX	3	20代	0
郵送	2	30代	1
電話	1	40代	2
合計	15	50代	1
		60代	3
		70代以上	5
		不明	2
		合計	15

分野別応募状況	
市政	8
まちづくり	7
環境	5
道路・交通	2
施設整備	1
農業・漁業	1
その他	2
合計	26



職員プロジェクトについて

平成21年8月～平成22年3月にかけて、庁内の職員でプロジェクトチームを結成し、船橋市の現状に関する分析や新基本計画におけるリーディングプランの提案、船橋市の突出した魅力創出のアイデアの提案について検討を行いました。

<<職員プロジェクトについて>>

■プロジェクトの目的■

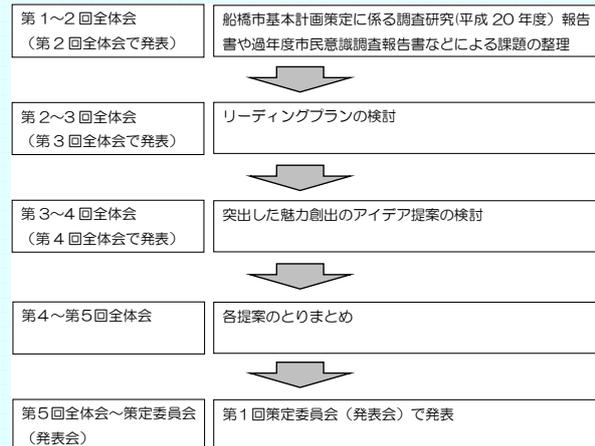
将来市の政策展開を担うこととなる市職員の新鮮なアイデアを発掘することと、日常業務では各種計画の策定等に参加する機会が少ない職員層に参加の機会を提供し、ワークショップにおける検討を通じて、市政を大局的かつ長期的に考える視点並びに企画立案能力の育成を図り、船橋市の次代を担う職員を育成することの2点を目的として実施しました。

■参加者■

庁内公募により職員を募集し、募集職員16名に企画調整課の職員3名を加えた19名の職員が参加しました。

■検討の方法とフロー■

検討はワークショップ形式での議論を行い、全体会と、その間に自主運営による分科会を開催しました。



<<職員プロジェクトでの提案内容について>>

分科会	リーディングプラン	突出した魅力創出のアイデア
第1グループ	市民による船橋づくり ～新たな担い手の活躍のために～	市民参加で活性化が期待できる事業のコーディネート
	今ある資源を活かして発展する街 ～市民満足度の向上のために～	余裕スペース等の有効活用検討システムの構築
第2グループ	市民活動の活性化～こころのふるさとづくり～	喫茶 Silu-Ugoku
	身近な自然の再発見	公園再発見運動
第3グループ	都市ブランド“ふなばし”の発信	船橋 オープン エア ミュージック 事業
	人が集まるまち	「快適都市空間ふなばし」の創造

今後の予定について

平成22年度から庁内の検討組織である総合計画策定委員会を立ち上げ、これまでの様々な方法でいただいた市民の皆様の意見等を参考にしながら、素案を作成します。その後、市民も交えた総合計画審議会で審議を行う予定です。

<発行・お問い合わせ先:船橋市 企画部 企画調整課>

住所 〒273-8501 千葉県船橋市湊町2-10-25

TEL 047-436-2053

FAX 047-436-2058

電子メールアドレス kikaku-kei@city.funabashi.chiba.jp

ホームページ <http://www.city.funabashi.chiba.jp/kikaku/shinkihon/index.htm>